

勤続年数による賃金体系が実現

勤続年数5年以上は昇給

今年採用された人も、10年、20年と勤務している人も賃金が同じでした。

組合は、2008年から経験年数を反映した賃金体系を創設するように要求してきました。

ようやく、2015年度の団体交渉によって、勤務年数が3年、5年、10年、10年以上の4ランクの賃金体系が導入されることになりました。

勤続3年以上5年末満の人が現行と同じ、5年以上の人、10年以上の人が昇給します。

10年以上勤務者の嘱託保育士と嘱託構成員は173,000円、嘱託調理員は167,000円、臨時職員は3年以上5年末満の人は時給が10円アップ、5年以上は20円アップです。保育士で一人担任は5,500円加算。主任調理員は10,000円加算されます。

勤務経験年数が3年末満の人は、現行より給料が下がることとなりますが、下がった給料は新年度に採用された人から適用されます。

現在働いている人は現行の給料が保障されます。



組合が実現してきた待遇改善

あなたの組合加入を待っています！

嘱託・臨時職員の組合が玉村町に出来てから、毎年団体交渉を行い、多くの要求を実現してきました。

- 通勤手当の支給（正規と同じ）
- 嘱託月額8千円、臨時時給20円アップ（2009年度）
- 嘱託職員の有給休暇は採用初年度から年20日付与
- 病気休暇、忌引き休暇
- 臨時職員も産休・育休の取得
- 嘱託職員の退職金は、平成13年度以降分は、平成18年度に勝ち取り、平成23年度には平成12年度以前の勤務分含め全額支給を勝ち取る
- 各児童館の嘱託職員を2人以上に、夜間の勤務は2人体制にする。
- 保育所の入所予定児童数5月時点分の職員数を、年度当初に配置。
- 臨時職員から嘱託職員を採用
- 保育士の1人担任手当5,500円を実現。
- 2013年度、嘱託職員の一時金を年間2ヶ月。
- 臨時職員の時給10円アップ。
- 60歳定年後の雇用確保措置として、61歳まで臨時職員として再任用制度を創設。
- パワーハラスメント防止の研修事業の実施。
- 2014年度に臨時職員として再任用可能とする年齢を65歳までに引き上げる。

群馬県自治体一般労働組合

2016年春号

7月入所予定児童数で 保育士を配置

保育所では、年度途中から入所する児童数に合わせて、保育士の募集を行ってきましたが、年度途中には慢性的な保育士不足になっていました。

08年度の団体交渉で町当局から「ゼロ歳児の場合には、五月の入所予定の児童数に応じて四月当初から、職員配置する」と回答され、それ以降も年度当初から予測できる必要な保育士数の配置を要求し続けてきました。

15年度の団体交渉で、「7月から加配が予定されている保育所では、4月当初から配置する」との回答を得ました。保育士確保に悩んでいた管理職にも喜んでもらえる成果です。



保育所給食の民間委託は反対！

退職者補充も検討せず、民間委託

第4保育所の年度末での退職者は2人。定年退職予定の調理員は12月には再任用に応じない意向を町に伝え、もう一人は派遣職員のため契約時から派遣期間は決まっていました。

町は3カ月も調理員の募集を行う時間があつたにもかかわらず、4月から調理員不足で給食を作れなくなるから民間委託すると言います。

保護者・議会への事前説明は無し

なぜ民間委託しなければならぬのか、民間委託によってアレルギー対応は大丈夫なのか。保護者や議会に事前の説明はなく一方的に民間委託を決めてしまいました。

良い給食を維持すると偽装請負！

請負契約による業務委託は、町からの仕様書に基づいて給食業務の全てを請け負います。そのため、調理職員と町の保育士や栄養士が変更の指示や打ち合わせを直接することができません。

調理員が保育室に入り、保育士と一緒に食育に携わることもできません

引き継ぎ期間無しで大丈夫か？

3月31日迄は町の調理員が給食を作り、4月1日からは請け負った業者の従業員が給食を作ります。

調理室の設備や備品は町の物を使いますが、初めて使う調理室でスムーズに調理ができるのでしょうか？

3年間で4270万円の委託費

1年間では、1423万円余です。4人の調理員の仕事を委託する経費ですが、この経費はほとんどが人件費と業者の利益です。

町の嘱託調理員の給料は月額約16万円。通勤手当を含めても月額約230万円。町が負担する社会保険料等を加えても、1人当たり年300万円程度と思われれます。

町の直接雇用では、給料に消費税は不要ですが、委託費には消費税8%も町は支払わなければなりません。

管理が面倒だから民間に丸投げ

保育所の調理業務を民間委託するメリットは、町が調理員の管理業務を民間に丸投げして事務が減るだけでは？

町の調理員は誇りを持って仕事

第4保育所の残った2人の嘱託調理員は、業者の誘いを断り、町職員として働くことを選びました。